**職　務　経　歴　書**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　20xx年xx月xx日現在

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名　○○ ○○

**■職務要約**

記録メディアメーカーの品質保証部門にて、磁気記録メディアの品質保証業務を担当してまいりました。顧客対応から品質分析、設計開発部門への改善要望のフィードバックまで幅広く経験しております。工程立ち上げの際のQC工程表や作業手順書の作成も担っております。

**■職務経歴**

□20xx年xx月～現在　○○○○株式会社

　◆事業内容：記録メディアメーカー

　◆資本金：○○○百万円　売上高：○○○百万円（20xx年）　従業員数：○○○名　非上場

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 期間 | 担当部署 | 担当製品 | 担当業務 | メンバー/役割 |
| 20xx年xx月　～　現在 | 品質保証部品質保証課 | 磁気記録メディア | ・顧客対応業務（顧客向けレポート作成、出荷検査成績表の作成、クレーム対応、不良解析、監査対応）・製品出荷判断、工程調査・工程管理決定（表面粗さ、磁気的特性、電気特性、試験工程仕様）・他拠点コントロールおよび指導・品質管理方法の全社的標準化の推進、他拠点展開・量産立ち上げ支援・ISO9001に準拠したQMSの構築【実績・取り組み内容】・各製造拠点（3拠点）の中心的な役割を果たした。特に品質不具合の多かったベトナム工場を、社内で最も品質レベルが高い工場に変革した。・4機種の新規開発におけるデザインレビューなどの第三者的チェック機能の役割を果たし、量産立ち上げにおける品質安定化までを経験。・市場品質情報をもとに、設計的に問題がある部分を設計にフィードバックし仕様変更へ寄与。不良解析により寿命予測を行い、設計的に対策を行うか否かの検討を行った。・出荷検査成績書作成をルーチン化し、派遣社員に教育することによる業務効率の向上を実現。 | 品質保証部　20名品質保証課　4名 |
| 20xx年xx月　～20xx年xx月 | 品質保証部分析課 | 磁気記録メディア | ・品質分析　使用機器：走査型電子顕微鏡（SEM）、液中粒子計測装　　置（LPC）、超音波洗浄装置・分析方法の確立と作業員への指導・品質改善活動への参加・装置の新規立ち上げ【実績・取り組み内容】・これまで手入力で作成していた検査成績書について、自動で入力されるマクロを作成し、検査結果の転記ミス削減と作業時間の削減に寄与した。 | 品質保証部　20名分析課　3名 |

**■活かせる経験・知識・技術**

・関係部署との交渉や調整の際、相手の意見を聞き、同時に自分の要求を率直に伝えられるコミュニケーション能力

・各種計測器（走査型電子顕微鏡、液中粒子計測装置、超音波洗浄装置）を用いた検査業務、およびそれらを用いた実験に

取り組む粘り強さと探究心

・クレーム情報、不具合・不良品解析により、製造工程・設計図面上等へ適正な改善を行う不具合解析業務

・QC7つ道具を活用した定量的な工程分析

・ISO9001に準拠したQMSの構築

**■資格**

・日本英語検定試験準1級（20xx年xx月）

・品質管理検定2級（20xx年xx月）

・ISO9001内部監査員（20xx年xx月）

**■自己PR**

あまり、限定せずに簡潔に！

**コミュニケーションにおいて気を付けていること**

品質管理と品質保証を経験し、磁気製品生産に関わる工場での業務は一通りの知識があります。特に、在籍中にリニューアルや生産ライン増による設備導入があったため、新しくラインを立ち上げるまでの設備調整と品質管理工程の確立に自信があります。品質保証部では、生産ラインと密にコミュニケーションをとっていたため、現場からの声を吸い上げる役割を果たしていました。衛生指導や業務効率化など、現場の意見を聞きつつ双方にとって良い提案を促すことで、生産ラインスタッフの共感を得ることができていたと思います。

**品質保証業務を行う上で心がけていること**

お客様ごとに異なる要求や社内の標準・規格などの背景を理解して、ただ言われたからやるのではなくそれをやる目的まで理解をして、常に先を読んで行動することを大切にしております。

以上